



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を取得済。維持していく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15							
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPIに適宜情報を公開していく。												12.6										
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	どんな再生可能エネルギーが利用可能なのか検討する。							7.2							13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	高燃費自動車部品の生産増加に取り組み、化石燃料の省エネ貢献する。												12.2	13	14	15							
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範(8. 政治・行政との健全な関係、贈答・接待) 全社周知、教育を行い、汚職・贈収賄の起きない体制としている。																	16	16.5				
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範(6. 取引先と相互発展) 全社周知、教育を行い、公正なルールに則った取引の実施している。																			16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標の管理者を決め管理している。									8.2		9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	2017年に個人情報取り扱い規程を作成し運用。特に事務部門においては情報漏えいの無いように教育を実施している。																				16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取引先と共同で定期的な確認活動を実施している。																				16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との定期監査および日常のコミュニケーションを通し、公正な事業に取り組んでいることを確認している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17				
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001およびIATF16949を取得済であり、安全性確保の仕組みを構築している。			3.9										12.4									
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001およびIATF16949を取得済であり、品質保証の仕組みを構築している。									9													
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	取引先で環境配慮された設計されたものの生産に取り組んでいる。						6						12	13	14	15							
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	高燃費自動車部品の生産に取り組む、省エネおよびCO2排出削減に協力する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	近隣住民への訪問を通して状況の把握に努める。				4						9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	遊休施設を慈善事業団体に無償貸出を実施、近隣小学校の課外授業受入なども積極的に行う。また災害地域への寄付活動も行う。				4								11					14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域取引先業者積極的に活用し協業、育成することを行う。										8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念は明文化され、社内周知を行っている。年度ごとに経営方針が打ち出され社内周知、方針に沿った目標を立て、共有している。										8	9										17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	行動規範の第1にて法令遵守すること規程しこれを全社周知および教育実施している。																					16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	取締役会を筆頭に、品質・環境ともに専門の事務局を設置し責任者を明確に定めている。																					16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	各業務における利害関係者のニーズと期待を把握し、活動計画に反映させる仕組みとしている。																				16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	社内外の課題を特定、リスクと機会に分けて側面分析を行い活動計画に落とし込む仕組みとしている。																					16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	経営理念、行動規範、品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムに沿って責任ある事業活動が全社員一丸となって取組めるようにしている。																					16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	ISO9001/IATF16949またはISO14001の中で緊急事態を特定し、その防止策、発生対応策を計画立案している。また発生模擬訓練も行っている。										9		11		13	13.1					16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	月2回の取締役会を実施。長期、短期の事業計画検討、見直しを常に行い、必要があれば株主総会を行う体制としている。										8	9										17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）